

V.G 概輪だより

会報 第91号
発行日 平成24年5月1日
発行・編集 V・G 概輪
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介 静かな山間の別荘でひんやり過ごす「わがまち」よう、出灰

かな出灰の別荘をお借りして総会を開催する事になりました。

平成24年4月18日(水曜日)晴れ
JR高槻駅北口発2番のり場 中畑回轉場行 出灰下車
出灰→素盞鳴神社→願成寺→総会会場
「わがまち紹介」後
2012年度V.G概輪総会会場へ
総会后、会食・親睦会を行う。

出灰は出灰川・田能川・流谷川が合流する場所です。高槻から亀岡へ行く府道(6号線)で北に行くと同国橋が有るのをこ存じですね。丹波の国と山城の国の二つを結ぶ橋なので、そういった名前がついているそうです。

いまでも、大阪府と京都府の府境になっています。出灰川を挟んで高槻市と京都市が隣接する地域で京都市側も大原野出灰町と同じ地名ですが、丹波と山城と国も違う別の村です。府道と分かれて、出灰川の右岸沿いに車道

を歩く。この道は『緑の郷』のハイキングコースとして高槻市が指定しています。車も殆ど通らない舗装道路です。山際には野仏も道行く人を見守っています。道添えにはところどころに大きな桜が咲き、山には山桜が咲き春の空気を

「出灰(いずりは)」の地名は、古来、石灰を産出し朝廷に納めていたことによるといいます。出灰は、広く梅の木原(うめのきはら)、垣内(かいち)、島崎(しまざき)、堂の前(どうのまへ)、西の下(にしのかした)、二の瀬(にのせ)、東羅(ひがしら)があります。

素盞鳴神社は流谷川の左岸に鎮座します。境内には神仏習合時代の牛頭天王の灯籠が残り、鳥居左の御神木の巨大な桂は合併前は京都府、現在は大阪府の天然記念物に指定されています。

創祀は不詳です。御祭神は素盞鳴命で出灰村の村社です。

宗西山派本山栗生光寺下です。境内は宅地133坪を有し、阿弥陀仏を本尊とする。

現在の本殿は昭和28年再建されたものです。以前は現在とほぼ同じ大きさの茅葺き屋根の本殿であったが、昭和25年5月に本殿の西側にあった風呂場の火の不始末で、仏像、仏具、大事な過去帳まで一切灰燼に帰した。当時、寺の財産もなくなり、僅か40数戸の檀家が丸となってわずか3年で再建されました。火災までは専任の住職がおられたが、その後は山城方面の曾呂が兼務され、平日は無住で、檀家代表がめんどうを見ておられるとのことです。

出灰については、2011年8月1日「わがまち紹介」を「概輪だより」に掲載しました。S・O



西山浄土宗 願成寺(大阪府高槻市出灰字東羅)創建は不詳です。



一休和尚が再建したと言われる尼院寺(支堤寺)(文安4年(1447))の以前からあったお寺です。豊国山と号し、浄土



たかつき春の市フリーマーケット
4月21日(土)平成24年の春の市は、前日の夕方まで開催日の天候が雨と曇りにこのころと変わり、準備をしたり、中断したりと、心悩ませたフリーマーケットでした。しかし、当日は少し風がありました。快晴でフリーマーケット日よりとなりました。

2012年6月度行事予定

“日本食に欠かせない豆腐と蒟蒻を知ろう”：旧田中村(茨木市)
月 日：2012年6月21日(第3木曜日)
集 合 場 所：高槻市立小寺池図書館前 10:20
順 路：小寺池図書館前から車で分乗し旧田中村(伏見屋)
そ の 他：1) 伏見屋の工場見学には人数制限があります。見学希望者は大岡までお申し込み下さい。
2) 伏見屋の工場見学は11:00から12:00(予定)(5月定例連絡会で詳細を説明します。)

2012年5月度行事予定

“情熱的で美しいあなたにぴったりのバラを見つけよう”：茨木市
月 日：2012年5月17日(第3木曜日)
集 合 場 所：J阪急茨木市駅改札出口 10:20
阪急茨木南 10:31 発(近鉄バス)→「水尾三丁目行き」に乗り「若園公園前」バス下車 徒歩3分
順 路：阪急茨木市駅→バス→若園バラ公園→バス→阪急茨木市駅
そ の 他：1) 園内でお弁当が食べられます。(弁当ご持参下さい。)
2) 駐車場は有るがシーズン中は満車になるようです